

第6回ごみ処理研究部会（第3部会）

招集年月日	平成 25 年 2 月 12 日（火）					
招集場所	南部総合福祉センター2階会議室					
開会時間	午後 2 時 00 分					
閉会時間	午後 3 時 50 分					
出席委員 及び 欠席委員 〔出席委員 11 名〕 〔欠席委員 4 名〕	委員 番号	氏 名	出席 の別	委員 番号	氏 名	出席 の別
	1	新垣行則	○	9	安里 勉	×
	2	久手堅 勝	○	10	新崎 政利	×
	3	大城盛直	○	11	久手堅永昇	○
	4	當眞嗣也	○	12	富永尚信	×
	5	諸見里 一	○	13	嘉数笑津子	○
	6	大城 章	○	14	桑江裕子	○
	7	喜友名 等	○	15	比嘉昭子	×
	8	長浜真治	○			
会議に出席した 事務局の職・氏名	室 長	山城 匡				
	係 長	知念正樹				
	主 任	新垣美智子				
	コンサルタント	沖縄チャンドラー 新垣宗一				
	〃	沖縄チャンドラー 仲松 淳				
その他会議に 出席した者						
会議に付した事件 及び議決内容	別紙のとおり					

第6回ごみ処理研究部会（第3部会）

会 議 録

次 第

1. 開会あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・副部会長 諸見里 一
2. DVD 視聴
3. 前回議事録（要旨）の確認
 - (1)自治会長等の視察研修に実施については市町で取り組んでもらう。
サザン協は情報収集し市町へ提供していく。
 - (2)ごみ処理基本計画策定を優先することから減量化行動計画は平成 25 年 4 月から取り組んでいく。(H24.7 月策定計画であったのを H25.4 月に修正)

【協議事項】

1. 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について

- ①収集・運搬に関する課題で、指定ごみ袋等の料金について適宜検討し、適正料金を維持する必要があると課題があがっているが、住民が負担している指定ごみ袋の料金を行政が3分の1でも負担することはできないか。
→住民の負担軽減のために料金を下げること方法としては考えられるが、近隣市町村のバランスが崩れ料金の安いところにごみが流入する可能性もある。指定ごみ袋の収益だけでは全てのごみ処理は行えるものではなく、排出抑制を促すためのものであると考える。料金適正化については近隣の市町村の状況をみながら料金を設定していく方がいいと思われる。
- ②資源化物の抜き取り防止について誰がどのように防止していくのか。
→各自治会で集団回収して管理をしていくことも方法としてはあるが、現実的には難しい。引き続き行政側のパトロールを強化していく。
- ③サザン協の広報紙で南部地区の年間ごみ処理量や減量、リサイクルの推進など住民にわかりやすく PR してはどうか。（啓蒙活動）
→そのように取り組んでいく。
- ④増加傾向にある事業系ごみについては実態を把握し指導をしていくことで改善につながるのではないか。
→家庭系ごみは各家庭で厳格に分別し排出する。きちんと分別が出来ていないと業者は収集しないが、事業系ごみについては許可業者が事業所と契約して収集する形態であり、その分量に応じて料金を受け取る仕組みであるから立場としては収集業者が弱いだらう。多少分別が出来ていなくても収集し、場合によっては事業系ごみを家庭系ごみに混入して出したり、不法投棄に繋がっていることも考えられる。

【確認事項】

- ①一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（要約版）について承認する。